

なかぎり
「中切水力発電所」の開発に向けた基本協定を締結
～発電出力 360kW の維持流量発電所を建設します～

中部電力グループの株式会社シーテック（本社：名古屋市瑞穂区、代表取締役社長：仰木 一郎、以下「シーテック」）と中部電力株式会社（本社：名古屋市東区、代表取締役社長：林 欣吾、以下「中部電力」）は、本日、中部電力の下原ダム（岐阜県下呂市）の設備を利用した水力発電事業に関する基本協定を締結しました。

本日締結した基本協定は、シーテックが中部電力の下原ダム右岸に「中切水力発電所」を開発・運営するにあたり、中部電力の設備を利用することから、設備の所有・管理区分や、発電所に関する管理・運用の基本方針などを定めたものです。

シーテックが水力発電所を開発するのは、秋神水力発電所、さこれ水力発電所に続き3か所目となります。開発にあたっては、地元の皆さまや関係各所にご理解とご協力をいただきながら、安全を最優先に進めてまいります。

中部電力グループは、エネルギー自給率の向上と脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーを主力電源の一つと位置付け、2030年頃に200万kW以上の開発を目標に、引き続き、再生可能エネルギーの開発に積極的に取り組んでまいります。

<計画概要>

発電所名	中切水力発電所
所在地	岐阜県 下呂市金山町中切地先
出力	360kW
想定年間発電量	約 237 万 kWh (一般家庭 約 760 世帯分の年間使用電力量に相当)
CO ₂ 削減量	年間 1,020 トン程度
着工予定	2021(令和3)年 8月
営業運転開始	2023(令和5)年 8月

別紙：概略位置図と発電所設置イメージ図

以上

概略位置図と発電所設置イメージ図

○概略位置図



○発電所設置イメージ図



下原ダム空撮写真

・発電所概要

下原ダム右岸にある既設取水口から維持流量分を取水し、新設する水圧管路で下流側に導水して立坑内の水車・発電機で発電する。発電後の流水は、現状と同様にダム直下に放流する。

(参考) 中部電力グループの維持流量発電所一覧 (2021年3月10日時点)

開発者	発電所名	所在地	出力(kW)	運転開始年月
中部電力	東河内	静岡市葵区	170 kW	2001年2月
	新串原	岐阜県恵那市	230 kW	2015年6月
	阿多岐	岐阜県郡上市	190kW	2015年7月
	丹生川	岐阜県高山市	350 kW	2016年6月
	新奥泉	静岡市葵区	320kW	2018年3月
	いちしろ	静岡県榛原郡川根本町	160kW	2021年度(予定)
	内ヶ谷	岐阜県郡上市	720kW	2025年度(予定)
シーテック	秋神	岐阜県高山市	290kW	2016年5月
	さこれ	岐阜県下呂市	380kW	2018年9月
	中切	岐阜県下呂市	360kW	2023年8月(予定)